

(別紙1) 選定基準表

選定基準表

審査評価項目	主な判断材料 (様式)	評価の視点
1 法人の概要		
法人理念について	様式 2-1 ①	・法人の理念や基本方針が事業目的と合致した内容となっているか
介護予防事業又は地域活動に関する実績について（令和4年度～6年度実績）	様式 2-1 ②	・ <u>介護予防事業・地域連携に活かせるノウハウ・実績</u> をもっているか（法人全体として介護予防以外で養ったノウハウも含む） ・積極的な地域貢献の姿勢が見られるか
運営状況について	財務諸表	・法人の施設設備及び運営資金の確保について適切であり、健全かつ安定した経営状況が認められるか
2 委託業務の実施体制		
実施体制について （人数・職種）	様式 2-2 ①	・経験のある <u>理学療法士1人（常勤）、補助員（理学療法士・作業療法士・健康運動指導士・介護福祉士・正准看護師）2人の職員配置</u> の提案がされているか ・事業目的・特性を生かした実施体制が提案されているか ・緊急時等に対応可能な体制となっているか
職員の育成について	様式 2-2 ②	・サービスの質の確保及び向上を目的とした人材育成（専門職研修等）の体制が整備されているか
安全管理体制の確保について	様式 2-2 ③	・高齢者の特性を踏まえ、事故を防ぐための配慮及び、 <u>事故発生時の対応</u> について具体的な提案がされているか
3 事業コンセプト		
事業コンセプトについて	様式 2-3	・事業目的を理解し <u>介護予防の視点</u> が含まれているか ・事業に対して意欲、工夫、独自性が見られるか
4 具体的な業務内容		
担当地区での地域づくりについて（これまでの実績の活用、実施会場の選定、関係機関の連携等）	様式 2-4 ①	<u>担当地区における地域連携の構築等、運営にあたっての具体的な提案</u> がされているか（実施会場の選定も含む）

生活機能を向上させる機能訓練の考え方について	様式 2-4 ②	・ <u>身体機能だけではなく、生活機能(活動・参加)の維持向上に向けての機能訓練であることを理解した提案がされているか</u>
生活機能向上プログラム報告書の計画・実施・評価について (方法・内容・効果・利用者への結果の見せ方について)	様式 2-4 ③	・ <u>ケアプラン等の目標に沿って個別性を重視した提案がされているか(栄養面も含め)</u> ・ 利用者へのわかりやすい効果の見せ方について具体的な提案がされているか
個別リハビリについて	様式 2-4 ④	・ <u>個人の生活目標に沿った理学療法(リハビリ)の内容であることが提案されているか</u>
集団体操・集団健康教育等について	様式 2-4 ⑤	・ <u>機能訓練を通じた社会交流</u> についても提案がされているか。 ・ 本事業の内容充実を図る提案がされているか(医師等の健康講話、口腔機能改善、栄養改善について等)
屋外機能訓練について	様式 2-4 ⑥	・ <u>生活圏域で実施され、生活行為の拡大につながる個別性のある提案がされているか</u>
セルフマネジメント支援(教室期間中に自宅等で、自ら継続して取り組む介護予防について)	様式 2-4 ⑦	・ 教室期間中に自宅等で、 <u>自ら介護予防(運動等)が続けられるような意識付けや助言等の具体的な内容の提案がされているか</u>
利用終了後の方向性に沿った定着支援について	様式 2-4 ⑧	・ <u>利用終了後にステップアップした生活が継続しておけるよう、運動習慣を取り入れた具体的な定着支援が提案されているか</u>
事業に継続して参加できるような工夫について	様式 2-4 ⑨	・ <u>事業に継続して参加ができるような工夫について提案がされているか</u> (送迎、やる気の維持、中断者の減少等)
事業効果・事業評価について(方法・内容・効果)	様式 2-4 ⑩	・ 事業の効果を図るため、具体的評価の方法が提案されているか(参加率、開催数、参加人数、改善率、地域とのつながり等 PDCA の視点があるか)
5 見積額に関すること		
見積価格の適正性	様式 3	・ 事業全体にかかる見積価格は適正に見積もられているか